

令和 8 年 6 月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 議事録

日時：令和 8 年 6 月 13 日（土） 15：00～18：00

場所：ハービス PLAZA 5 階 会議室（第 8、9、10）

出席者 38 名（敬称略）

<副会長> 木下 裕介 堀口 泰輔 河崎美也子 宮崎 浩 史 賢林

<理 事> 明石 健一 重栖 孝 榎本 誠 大窪 博 片岡英一郎 貴島 浩二
清水 広太 小坂 理也 神藤 佳孝 竹口 輝彦 調子 和則 中川 浩彰
中野 晋吾 橋本 和喜 橋本 和喜 濱田 泰彦 葉山 悦伸 藤原 憲太
藤本 啓治 邊見 俊一 増田 博 水沢 慶一 宮口 正継 村上 仁志
山口 眞一 山本 善哉 吉田 清志 吉川 尚孝 吉村 弘治 和田 孝彦

<特別出席者> 無し <オブザーバー> 無し

<監 事> 黒田 晃司 栗本 一孝 前中 孝文

定刻になり出席者数が 24 名で定数を満たすことを確認し、

会長急用欠席のため、木下裕介会長代行の司会にて令和 8 年 3 月理事会が開始された

[協議事項]

1、令和 8 年 3 月 OCOA 議事録承認 中野 理事

2、令和 8 年 4 月 OCOA 議事録承認 中野 理事

3、第 50 回 OCOA 定時総会 議事録 中野 理事

1～3 について、令和 8・9 年度体制を修正、承認された。

4、研修会実施予定 史 副会長

下記、確認了承された。

第 383 回大阪臨床整形外科医会研修会 （令和 8 年 7 月 25 日 会場：アーバンネット御堂筋 ホール
3 階ホール） 共催 旭化成セラピューティクス 16:00～

受付 中塚 映政 先生 水沢 慶一 先生 司会 葉山 悦伸 先生

講演 I：「非専門医でも知っておきたい関節リウマチ診療の Tips-例えば検診発見無症状 ACPA 陽性者にどのように説明するか-」

座長：橋本 和喜 先生

講師：独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター整形外科/リウマチ科医長 高樋 康一郎（たかひ こういちろう）先生

講演 II：「重症骨粗鬆症による身体変容と椎体骨折治療への包括的アプローチ」

座長 濱田 泰彦 先生

講師：近畿大学病院 整形外科 医学部講師 石濱 嘉紘先生

第 384 回大阪臨床整形外科医会「特別」研修会 （令和 8 年 8 月 22 日 会場：TKP ガーデンシティ
PREMIUM 大阪駅前） 共催 アステラス製薬・アムジェン 16:00～ ※ 特別研修会

受付 邊見 俊一先生、長谷川英雄先生 司会 重松 浩司先生

講演Ⅰ：「重症骨粗鬆症治療の新展開と診療所から見た地域連携の実践」

座長：和田 誠先生

講師：上整形外科リウマチ科 院長 鶴上 浩先生

講演Ⅱ：「首下がり症候群の診断から保存加療・手術療法～術前骨粗鬆症治療も含めて～」

座長 藤原 憲太先生

講師：奈良県立医科大学整形外科講師(地域医療支援・教育学講座) 川崎佐智子 先生

第 385 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 8 年 9 月 26 日 会場：TKP ガーデンシティ P R E M I U M 大阪梅田新道) 共催 第一三共 16:00～

受付 明石 健一 先生 清水 広太 先生 司会 吉川 尚孝 先生

講演Ⅰ：「『高度救命救急センターにおける重度四肢骨盤外傷治療-術前計画が鍵を握る-」

座長：大窪 博 先生

講師：関西医科大学 救急医学講座 整形外科派遣医 助教 矢倉 拓磨 先生

講演Ⅱ：「難治性脊椎脊髄疾患に対する手術治療と遺残疼痛-疼痛克服に向けた臨床・疫学エビデンス-」

座長 和田 孝彦 先生

講師：名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻運動・形態外科学講座
整形外科学/リウマチ学 教授 今釜 史郎 先生

第 386 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 8 年 10 月 17 日 会場：TKP ガーデンシティ P R E M I U M 大阪梅田新道) 共催 あゆみ製薬 (帝人ヘルスケアから変更) 16:00～

受付 村上 仁志 先生 山本 善哉 先生 司会 中野 晋吾 先生

講演Ⅰ 演題名：「未定」

座長：重栖 孝 先生

講師：大阪南医療センター整形外科/骨・運動器疾患センター部長 柏井将文先生
(予定)

講演Ⅱ 演題名：「未定」

座長 宮口 正継 先生

講師：大阪公立大学大学院 整形外科 講師 上山 秀樹 先生

第 2 回大阪臨床整形外科医会産業医研修会 (令和 9 年 1 月 23 日 会場：大阪府医師協同組合 会議室 8 階大ホール) 共催なし 15:30～

受付 史 賢林 先生 宮崎 浩 先生 司会 木下 裕介 先生

講演Ⅰ 演題名：「未定」

座長：越宗 勝 先生

講師：医療法人泉友会 熊野クリニック 熊野文雄 先生 (予定)

講演Ⅱ 演題名：「整形外科医のための内科健診結果の活用法 (仮)」

座長 調子 和則 先生

講師：南海電鉄 産業医 脇岡 泰三 先生 (予定)

第 387 回大阪臨床整形外科医会研修会 (令和 9 年 2 月 13 日) 会場：シティプラザ大阪 共催 久光製薬 16:00～

受付 山口 眞一 先生 吉田 清志 先生 司会 岸本 英樹 先生

講演Ⅰ 演題名：「未定」

座長：葉山 悦伸 先生

講師：社会医療法人 愛仁会 井上病院 副院長 佐藤 宗彦 先生

講演Ⅱ 演題名：「未定」

座長 中塚 映政 先生

講師：和歌山県立医科大学 整形外科科学講座 講師 山中 学 先生

5、OCOA 各種委員会に委員（理事以外可）を補充する件

木下 副会長（白木 会長代理）

理事以外も委員に任命することを再確認し、新委員の任命は会長一任とする。

承認された

6、新学術委員の選任

史 副会長

和田 誠、重松 浩司、長谷川英雄、横井 裕之、三山 彬

以上の5名（敬称略）を新学術委員として選任したいと申し出があり、了承された。

今後、各委員の選任については理事会に諮らず常任理事会で決定出来る、と確認された。

7、大阪マラソンについて

大窪 理事

（1）次回 大阪マラソン 2027 は令和9年2月28日(日) 予定

（2）大阪トライアスロン大会アジアカップ 2026

令和8年5月31日開催され、大窪 博 先生が出務。来年も直前に OCOA に出務依頼が来ると予想されるが、Eメールにて応募することとした。

（3）大阪マラソン 2026 救護所 救急搬送一覧より

病院への搬送 40 件（うち 1 件は救護車両）

救護車によるフニッシュへの搬送 2 件 その他本部へ連絡があった案件 5 件

（4）大阪マラソン 2026 会計報告

大阪マラソン 2026 収入 ￥145,000 支出 ￥631,817 計 ￥-486,817

大阪マラソン 2025 収入 ￥115,000 支出 ￥499,917 計 ￥-384,917

ブルゾン代・宴会費の増額で昨年度より収支は悪かった（予算の 50 万以内）。

・大阪マラソンの救護対象は観客などすべての方が対象であることが報告された。

参加者以外への救護の際の備品使用と救急車使用に関しては大阪市に問い合わせする。

以上、確認承認された。

8、OCOA50 周年 記念式典、記念祝賀会

増田 理事

会の参加人数把握のための FAX による仮事前登録が締め切られ、128 名であることが報告された。

FAX が届いていないケースがあるため再調査が必要で、第 383 回 OCOA 研修会の案内に参加登録の用紙を同封することとした。

同伴者2名の仮参加登録があったが、同伴者は配偶者以外でも高校生以上の同居家族1名は参加可能である点、講演会と祝賀会はともに参加である点など、さらなる詳細は委員会で検討することとした。

以上、協議のうえ承認された。

9、広告に関して

増田 理事

OCOA 会員の看板広告に関して、掲載内容が不適切ではとの問い合わせがあった。

広告内容に関しては、まずは地域医師会、保健所に相談してもらうこと。

以上、確認承認された。

10、OCOA ホームページ 入退会、異動について

木下 副会長

- ① 現在 JCOA 入会申込書が JCOA 入会の葉に続いて添付されているが、入会の葉のみとする。
- ② 日本臨床整形外科学会 (JCOA)、大阪臨床整形外科医会 (OCOA) 入会申込書を新設する。その下に、日本臨床整形外科学会・大阪臨床整形外科医会は同時入会となり、どちらか一方のみの入会は出来ません。と赤字で記載する。
- ③ 臨床整形外科学会 (JCOA)、大阪臨床整形外科医会 (OCOA) 入会案内について は削除する (入会届が届いた先生には白木会長版を郵送しているため)。
- ④ 退会届出書 現在 JCOA のみになっているが、OCOA も追加する。

以上、承認された。

11、議事録係について

木下 副会長

12、令和8年9月 OCOA 理事会議事録担当の確認

中野 理事

9月 大阪公立大、2月 関西医大、3月 大阪医科薬科大+近大+村上仁志先生

令和9年3月理事会に令和9年度の総会・6月・9月・12月・3月の議事録係を決定する。

総括 木下裕介 (副会長)

議事録作成 中野晋吾 宮田重樹 (常任理事)

資料作成 和田孝彦 (主)

議事録係 令和8、9年度 OCOA 議事録委員会 4チーム (★リーダー)

総会後4月理事会 中野晋吾

6月理事会 (阪大) A★ 吉田 清志 葉山 悦伸 中野 晋吾

9月理事会 (大工大) B★ 榎本 誠 越宗 勝 水沢 慶一

12月理事会 (関医大) C★ 吉川 尚孝 重栖 孝 河合大五郎

3月理事会 D★ 小坂 理也 村上 仁志 中野 晋吾

総会レジメ 中野晋吾 (主)

以上が承認された

13、資料作成、議事録作成の後任について

木下 副会長

目標は2年後を想定しているが、適任の該当者が見当たらない。持続可能なシステムが必要と思われる。案：議事録係が資料作成を兼ねる、ホームページを活用する、など。

令和8年9月の理事会で再度協議することとなった

14、日整会100周年記念講演会共催メーカー

木下 副会長

計19社に依頼したが、現在のところ以下の別資料の5社のみとの報告があった。

旭化成セラピューティクス株式会社、大正製薬株式会社、日本臓器製薬株式会社、
科研製薬株式会社、第一三共株式会社

15、骨塩定量検査の算定要件の見直し

神藤 理事

OCOA ホームページ内に、「骨塩定量検査の算定要件の見直し」に関する資料を掲載し、会員への情報提供を行う

- ・留意事項通知に関する傾向と対策
- ・講演会資料
- ・2年目以降の骨塩定量検査 詳記に関して
- ・骨塩定量検査クリニック運用フローチャート
- ・事務方用算定のポイント「骨塩定量検査の算定要件見直し」 等

資料にて報告があった

16、J-let 専門医資格更新

神藤 理事

日整会専門医資格更新に関して、短時間で効率的に手続きを完了できるよう神藤佳孝理事がJCOA 版ガイド「より分かりやすく、時間をかけないための 独自資料」を整備。これらの資料を活用すれば、専門医更新の手続きは驚くほど簡単で、集中して取り組みれば一気に4時間程度で完了できる内容となっている。更新期限が2026年3月31日以降の方は基準が一部変更（免除制度の廃止など）されており早めの確認を勧める。

（日本臨床整形外科学会 理事長 長谷川 利雄 先生より）

1. 専門医資格更新ガイド（スライド2枚で完結）

<https://www.zimu.jcoa.gr.jp/2026/joa-guide01.pdf>

2. 動画：JOINTS 専門医資格更新申請ガイド <https://youtu.be/w1mFAHVb1Yk>

3. 動画：JOINTS 症例登録システムの完全マスター https://youtu.be/BTmbiv4l_Us

更新にあたっての重要なアドバイスを3点。

- 1、症例登録は「今すぐ」始められます。症例登録（計100例）は、更新手続き期間（更新前年11月－更新年4月）に限らず、いつでも登録が可能です。日々の診療の合間に、カルテから1日15人分程度を入力すれば、わずか1週間で完了します。手術症例だけでなく保存療法のみでも問題ありません。
- 2、Eラーニング・テストは効率的に 更新時に必須となる2時間のEラーニングとEテスト（計20問）も非常に容易です。動画視聴は一度きりでよく、万が一テストで間違えても、全問正解するまで何度でもすぐに再受験が可能です。出題順が変わる程度ですので、内容を確認しながら進めれば、短時間

で確実に合格（100 点満点）できます。

- 3、完全オンライン化で郵送不要 現在、手続きは完全にオンライン化されており、書類を郵送する手間は一切ありません。パソコン（推奨）から「JOINTS」にログインし、画面の指示に従うだけで完了します。

（参考：日整会の資料）

■専門医資格更新基準の改定について <https://www.zimu.jcoa.gr.jp/2026/joa-guide02.pdf> ■専門医・専攻医管理委員会 専門医資格更新申請マニュアル

<https://www.zimu.jcoa.gr.jp/2026/joa-guide03.pdf>

■専門医・専攻医管理委員会 専門医症例登録マニュアル <https://www.zimu.jcoa.gr.jp/2026/joa-guide04.pdf>

以上、JCOA 事務局 office@jcoa.sakura.ne.jp より通達があった

1 7、OCA ホームページ上に近畿ブロック会の専用ページを作成する件

宮口 理事

昨今スパムメール（受信者の同意なく多数の宛先に一斉に送信される迷惑メール）への対策強化の方向にあり、メーリングリストにての一斉配信でのやりとりが困難になってきています。そのため OCA の HP から近畿ブロック会のページへログイン出来る様にする案が常任理事会で承認された。

- 1、セキュリティ ID (JCOA)と PW (KINKI)を設置して入室するシステムで検討
- 2、アドバイザー契約をしているローカルサポート社で対応は可能だが、SE 作業を要するため別途 1.8 万（税別）の費用が初期費用 1 回のみ発生し、OCA が費用負担する。

以上、承認された

1 8、令和 8 年度 第 20 回大阪運動器リハセラピスト資格継続研修会開催計画

山本（善） 理事

* 日時：令和 8 年 10 月 18 日（日） 12：00～16：30

* 場所：大阪府医師協同組合本部 8F 大ホール（昨年と同じ）

* 講師（敬称略）および 演題予定

阪大	葉山 悦伸	運動器リハビリテーションのプロセス
大医薬大	堀口 泰輔	物理療法の実施法および適応と禁忌
公立大	越宗 勝	上肢のリハビリテーション
関医大	重栖 孝	ロコモティブシンドロームと運動器不安定症

* 日本運動器科学会 資格継続単位 4 単位 申請予定

ロコモコーディネーター資格継続研修単位 2 単位 申請予定

セラピスト研修を受ける方がロコモコーディネーターの単位を上乗せでとれる形で受付。

* 広報 OCA ホームページへの掲載、NETLINX による会員への FAX

（状況により、定期研修会案内送付物への同封依頼）

* 受付方法 原則として OCA ホームページより Web にて受付

*定員 110 名（昨年度 91 名）

*出務予定（敬称略）

山本（善）、白木会長、史副会長（学術）、宮崎副会長（経理）、重栖 孝（講師兼任）、
に加えて、榎本 誠、清水 広太、吉村 弘治、和田 孝彦の 4 名が決定した。

以上、承認された

19、大阪府医師会医学会運営委員の推薦

白木 会長

推薦が無く理事会協議では保留となったが、山口眞一理事の選任 が後日報告された。

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

木下 副会長

令和 8 年(2026 年) 6 月 4 日現在 会員動態 報告

前回理事会 令和 8 年 3 月 7 日(正会員 448 名)以降 新入会 4 名(内正会員 4 名)

平松久仁彦 先生	令和 8 年 4 月 20 日	入会
宇佐美嘉正 先生	令和 8 年 4 月 23 日	入会
増田 淳 先生	令和 8 年 5 月 9 日	入会
米田真悟 先生	令和 8 年 5 月 15 日	入会

前回理事会 令和 8 年 3 月 6 日 以降 退会 12 名(内正会員 12 名)

岩木研次郎 先生	令和 8 年 3 月 3 日	退会
小島 朗 先生	令和 8 年 3 月 19 日	退会
今井 秀 先生	令和 8 年 3 月 23 日	退会
鍋島 隆治 先生	令和 8 年 4 月 3 日	退会
佐々木裕次 先生	令和 8 年 4 月 7 日	退会
孫 瑤権 先生	令和 8 年 4 月 4 日	退会(ご逝去)
神原 幹司 先生	令和 8 年 4 月 22 日	退会(廃院)
瀬戸 信夫 先生	令和 8 年 5 月 7 日	退会（高齢のため）
岩本 斗伸 先生	令和 8 年 5 月 22 日	退会
石河 清彦 先生	令和 8 年 5 月 22 日	退会
黄 祥訓 先生	令和 8 年 5 月 22 日	退会
元田 忠伸 先生	令和 8 年 6 月 4 日	退会（退職）

異動 石井 正治 先生 石井整形外科 ⇒介護老人保健施設 放出ふれあいセンター

令和 8 年 6 月 4 日現在 正会員 440 名 その内訳は(448+4-12 で 440 名)

特別会員 6 名（内 2 名が JCOA 名誉会員）

顧問(現役教授) 7 名 関西医科大学の斎藤貴徳先生が退官、森田充浩先生が就任
斎藤貴徳先生は来年総会で名誉会員に変更予定

特別顧問 1 名 茂松茂人 日医副会長（正会員に含む）

名誉会員(元教授等) 9 名

合計 462 名（新任の澤田出先生を含む JCOA 名誉会員 計 7 名）

JCOA 正会員 は OCOA 正会員 440 名－1(行方不明の先生)+OCO A 特別会員 3 名

(三橋二浪先生、松矢浩司先生、森本清一先生)

(OCOA 特別会員の石井正治先生が令和 7 年 6 月 17 日に JCOA のみ退会)

442 名 から JCOA 名誉会員 7 名 を除いた **435 名**

行方不明の先生は令和 6 年 11 月 18 日に JCOA のみ退会届提出

2、令和 7 年度第 6 回 JCOA 理事会

2/15・東京 神藤 理事

【審議事項】

- ・運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査（11 年目）令和 8 年度も継続して実施
- ・二次性骨折予防継続管理料の実態調査（第 3 回） 約 3 割の患者で算定されていない
- ・第 8 回 JCOA 災害医療チーム研修会動画のオンデマンド配信について（神藤理事） JCOA ウェブサイトの「会員の部屋」に掲載し、会員向けメーリングリストにて広報。

【各種報告事項】

- ・第 51 回 JCOA 研修会（香川）報告 参加者は 273 名で、収支も適正であった。
- ・第 38 回 JCOA 学術集会（三重）収支報告について
経理委員会で確認した結果、助成金 800 万使用も収支は適正であったことを報告。
- ・令和 8 年診療報酬改定 骨塩定量検査についての交渉経過について
中医協総会において、骨塩定量検査が「原則年 1 回」とされる問題が指摘されたため、日整会、日本骨粗鬆症学会及び JCOA などの関係者で確認のうえ対応を開始した。
- ・第 6 回日本が誇る医療用外用貼付剤の推進に関する議員連盟報告（令和 7 年 3 月 9 日）
議員連盟や業界側が、湿布など外用剤の保険給付維持、処方枚数制限の撤廃、薬価の下支え及び基礎的医薬品の安定供給を求めていること等が報告された。
- ・令和 8 年度「骨と関節の日」のテーマについて、日整会 100 年プロジェクトとして全国市民公開講座が実施されるため、「骨と関節の日」のテーマは設定されなかった。

3、令和 8 年度第 1 回 JCOA 理事会

4/19・東京 神藤 理事

【審議事項】

- ・令和 7 年度決算・監査結果について、資料に基づき報告され、承認された。
- ・令和 8 年度予算について、寺門理事は資料に基づき報告、長谷川理事長は次のとおり報告。
ア. 令和 7 年度は実質約 1,000 万円の赤字で、主因は会員減少に伴う会費収入の減少。
イ. 対応策 3 点を挙げた。① 会費値上げの検討（令和 9 年度定時社員総会での承認を目指す）。② 会報の電子化による制作・郵送費の削減 ③ 全国的な入会促進策の実施
- ・令和 14 年度第 45 回学術集会を近畿地区、第 58 回研修会を九州地区で開催、承認された。

【各種報告事項】

- ・日本医師会・日本臨床分科医会代表者会議 第 1 回スイッチ OTC 化検討委員会（8/14）
基本的に OTC 化には慎重・反対の立場を維持する方針が共有された。
- ・令和 8 年度中華民国骨科医学会学術集会について、
2026 年（令和 8 年）10 月 23・24 日に台北マリオットホテルで開催される。
- ・令和 7 年度運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査結果報告（開始から 10 年目）
症例数は 2,632 例であり蓄積データは大きな成果である。受診勧告の対象は小学校高学年から中学

生が多く、理由としては「側弯症疑い」が最も多く、次いで「しゃがみ込み不能」「腰部前後屈痛」「片脚立位不能」が続いた。診断結果では側弯症が最多であり、下肢拘縮、足趾障害、オスグッド病、腰椎分離すべり症などが続いた。発育性股関節形成不全も2例認められた。事後措置では「異常なし」が約30%、「経過観察」が58%を占めた。一方で専門医紹介27例、手術例1例も認められ、一定数の重症例が存在し、側弯症ではコブ角50度以上の重症例が5例認められ早期発見の重要性が改めて確認された。

4、令和8年度第2回JCOA理事会

5/31・東京 神藤 理事

【審議事項】

- ・長谷川利雄理事が理事長（代表理事）に選定された。
- ・松原三郎理事、神藤佳孝理事、五味洸聡志理事、河村英徳理事 が副理事長に選定された。
- ・藤野圭司、田邊秀樹、新井貞男各会員の3名がJCOA顧問に選定された。

【各種報告事項】

- ・神藤副理事長より、ジョイクル関節注の製造企業から販売継続する回答があったと報告。
- ・第39回JCOA学術集会（兵庫）収支予算案について、辻本理事は資料に基づき学術集会の収支予算案について報告した。収支はきびしくJCOAよりの補助金を使う可能性が高い。

5、令和7年度第3回社会保険等検討委員会

3/29・東京 神藤 理事

- ・令和8年度診療報酬改定率3.09%について、病院の赤字経営に対しては一定の改善策が講じられたが、診療所の赤字経営について同様の対応がなされないのではないかと懸念。
- ・令和8年度診療集改定により整形外科診療所の収益は年間約500万円の減収となる見込み。

【委員会決議事項】

- ・令和8年度JCOA保険審査委員会議（令和8年9月5日（土）、品川プリンスホテルにて）
特別講演については、厚生労働省の技官を招聘する案を示した。
- ・第39回JCOA学術集会（兵庫）におけるシンポジウムについて
本委員会企画で「令和8年度診療報酬改定が整形外科診療にもたらすインパクト」

【委員会報告事項】

1. 令和8年度診療報酬改定について
 - ・骨塩検査が年に1回に制限された経緯について、日本骨粗鬆症学会の社保委員会に対し、日整会JCOA社会保険等委員会構成者の追加を要望したこと、を報告した。
2. アンケート結果について（神藤佳孝理事）
 - （1）末梢神経ラジオ波焼灼療法における保存的治療期間及びテストブロック
慢性疼痛を有する変形性関節症患者で6か月以上の保存的治療を行った症例が対象とされる傾向が示され、テストブロック時の神経ブロック及び超音波検査は算定不可。
 - （2）体外衝撃波疼痛治療術実施までの適切な保存的治療期間
保存的治療は、原則として6か月以上実施する必要があることが確認された。
 - （3）D250 平衡機能検査の適応
人工関節手術及び骨切り術の術前・術後評価において有用性が認められるとの結果。
3. 骨塩定量検査について、神藤理事は骨塩定量検査が4か月に1回から年1回へ変更されたことに関

する傾向と対策について報告、ガイドラインの解釈が影響した可能性がある。

4. 電子的診療情報連携体制整備加算に係る届出について

医療 DX 推進体制整備加算及び診療録管理体制加算の施設基準を届け出ている保険医療機関が、令和 8 年 6 月 1 日以降に電子的診療情報連携体制整備加算を算定する場合は、同年 4 月以降に改めて届出が必要となるが、この届出には HPKI カードの登録が必要。

6、日本臨床整形外科学会近畿ブロック会議 4/11・大阪 神藤 理事

① JCOA Q&A ハンドブック交通事故診療編集会議 2・21 東京（兵庫/山下仁司先生）

第 7 版は今春発刊予定 最終の編集確認

- ・追加された新原稿の確認と掲載箇所の検討（電動キックボードの保険 等）
- ・修正された Q&A の検討 自賠優先と労災優先 一括払いで治療後の労災への変更依頼
自転車事故、自転車と歩行者の事故、自賠責診療報酬基準への改称 等
過失割合について、JCOA 学会とも協議
- ・その他（新原稿について、PDF 版の発刊について）

② 令和 7 年度第 3 回自賠労災委員会 3/6 Web（兵庫/山下仁司先生）

【委員会決議事項】

- ・行政書士が交通事故医療に関与し、被害者請求を行う場合の問題点と対応について会員にとってト
ラブルとなる可能性があるため、周知文書を作成する必要がある。
次の（１）から（４）を含めた文書を作成のうえ会員向けメーリングリストで周知する。
（１）行政書士の業務内容及び司法書士との違いについて会員に違いを理解していただく。
（２）自賠責への診断書及びレセプトは行政書士に直接送付せず、患者に交付する。
診断書料及び診療費は自由診療とし請求は患者に直接行い、行政書士へ請求しない。
（３）医業類似行為との並行受療は認めていないことを明確に伝える。
（４）健康保険診療を希望する場合は、健康保険での対応とする。

【委員会報告事項】

1. 「基礎からわかる自動車保険の実務」の記載内容について
「健保一括は健康保険法第 74 条、国民健康保険法第 42 条にすると解すべきである」
と記載され、本委員会でも健保一括は法令違反となることを確認。
2. 電動キックボード・モペットに関する法規及び保険の解説について
自賠法上は自動車と規定され自賠責保険の締結義務があり、未加入の場合は政府補償事業の対象と
なり得る。任意保険ではバイク保険やファミリーバイク特約等で対応される。

③ 令和 7 年度 JCOA スポーツ委員会 3/12 WEB（滋賀/小林昌明先生）

- ・第 39 回 JCOA 学会 in 兵庫におけるスポーツ医懇談会について

テーマ『高齢者アスリートの治療とスポーツ復帰』

- 1) 教育研修講演（60 分）『高齢者スポーツと骨粗鬆症』（仮題）演者：齋藤 充先生
- 2) シンポジウム（90 分） 座長：麻生伸一先生、西川哲夫先生
 - ① 腰痛の治療とスポーツ復帰について 山崎良二先生
 - ② 変形性股関節症の治療とスポーツ復帰について：松下洋平先生
 - ③ 変形性膝関節症の治療とスポーツ復帰について：松下雄彦先生

3) ランチョンセミナー (60 分) (久光製薬担当)

『高齢者投球障害の管理と治療』: 山崎哲也先生

④ 第 39 回 JCOA 学会協賛状況、収支予算案について (兵庫/辻本和雄)

第 38 回学術集会にて協賛の得られなかった企業は、なかなか協賛してもらえず。器械メーカーに声掛けをしている。モーニングセミナーへの共催が無い。学会と共催セミナーへの参加者が増えないと、今後も協賛が得にくいと思われる。

2026 年 2 月の収支予算状況は約 1,500 万の赤字。

7、令和 7 年度第 9 回日本整形外科学会理事会 2/19・東京 神藤 理事

日整会 100 年プロジェクト実行会議 (オブザーバー参加: 中島康晴プロジェクトリーダー) の進捗状況が説明された。

8、令和 7 年度第 10 回日本整形外科学会理事会 3/26・東京 神藤 理事

・第 4 号議案 令和 7 年度名誉会員承認の件

山中 伸弥 先生 (京都大学 iPS 細胞研究所教授) を名誉会員として承認可決した。

・ロコモ チャレンジ!推進協議会 (第 182 回 2/19)

「新ロコトレ」の開発状況、海外 (SICOT 等) に向けた着物を用いた PR 動画の作成及び協議会の英語名称を「Locomo Challenge Collective」に変更する方針について報告された。

・e ラーニング動画の公開・管理について、一律 5 年公開とはせずに今後年度ごとに古い動画を非公開とし、適切な更新管理を行っていくことを承諾した。

・日整会 100 年プロジェクト実行会議 (オブザーバー参加: 中島康晴プロジェクトリーダー)

全国市民公開講座は全国 47 都道府県すべてで開催が計画され事業計画書が提出された開催団体に対し、支援金として都道府県ごとに 50 万円が支給されることが報告された。

9、令和 7 年度第 11 回日本整形外科学会理事会 4/23・東京 神藤 理事

【決議事項】

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告及び決算の件

令和 7 年度三学術集会の決算を含む令和 7 年度決算と監査報告が行われ、承認可決した。

【報告・審議事項】

・令和 7 年度男女共同参画委員会 (第 3 回 3/31)

「整形外科医になろうセミナー」の動画配信が開始された。今後は年 1 回の開催とし、過去の動画をアーカイブ化する。代議員の女性枠については、地区の枠内で 10%を目標に不足分を引き上げる「補完型」の仕組みなどが提案され、引き続き検討する。

・令和 7 年度医学教育委員会 (第 5 回 4/14)

全国 82 大学中 65 大学のデータから、全臨床実習における整形外科の割合が極めて低い

・ロコモチャレンジ推進協議会 (第 183 回 3/30)

国際化に向けた英語の PR 動画を作成し、第 99 回学術総会でブース展示を行う。

・2026 年度医学会連合 TEAMS 事業への応募方針について (80GO 推進会議)

老年病学会と協力し「80 歳になっても出かけよう (80GO)」の推進をテーマに応募する。

- ・100 年史における学術用語使用方針、日整会誌の英字表記について
日本整形外科学会雑誌の英語表記については、「NIPPON」に統一することとした。
- ・代議員の定年制について、組織の流動性を保つため、新規の代議員立候補を今後 10 年間は 66 歳未満とする方向でまとまりつつあることが報告された。

10、第1回日本臨床整形外科学会合同プログラム委員会 4/5・WEB

堀口 副会長

【理事会審議付帯事項】

1. 第39回JCOA学術集会（兵庫）について

- ・会 費：学術集会参加費は、現在の物価上昇を勘案し増額の提示があり、承認。

	事前参加登録	当日参加登録
日本臨床整形外科学会員	20,000 円	22,000 円
非会員 開業医・企業	22,000 円	24,000 円
非会員 勤務医	11,000 円	12,000 円
メディカルスタッフ・その他	7,000 円	8,000 円
ハンズオン	5,000 円	
ハンズオン（聴講のみ）	1,000 円	
日整会研修会員、医学部生	無料	
懇親会費	20,000 円	

会場数は講演 9 会場、展示会場を予定、託児所設営する

共催セミナー：24 セミナー（モーニング 0 題、ランチョン 17 題、イブニング 6 題、
くにうみスポンサードセミナー 1 題）

- ・抄録集について ① 配送費の高騰を勘案し、現地配布（受付に約 1,000～1,200 部）予定。
② モバイル／ウェブで閲覧可能とし、ホームページに明記する。

【委員会決議事項】

1. 第39回学術集会の見積金額について

費用見積が相当に高額である。学術集会当日の人件費や装飾・パネル等の単価高騰が主因であるとの説明であったが、運営事務局が提示する JCOA 学術集会会計基準の費用の部の勘定科目・細目が適切であるかを再評価する必要があるとの認識で一致した。

2. 第39回JCOA学術集会（兵庫）の査読に関する協議

- （1）公募演題 184 演題のうち、3 演題に対して慎重に審議を行った結果、採用。
- （2）17 演題（9.2%）に対し誤字脱字などの軽微な修正を行い、修正が行われた後に採用。

【委員会報告事項】

1. 第40回JCOA学術集会（岩手）について

愛称：雨ニモマケズ学会 岩手 テーマ：40 年の深化とパラダイムシフト

会期：2027 年（令和 9 年）7 月 18 日（日）・19 日（月・海の日）

会 場：マリオス・キオクシア アイーナ（いわて県民情報交流センター）

2. 附帯意見

- （1）第39回学術集会（兵庫）スポンサードセミナーでは、フランスの手外科医を招聘する。
- （2）スポンサー・企業展示の早期アプローチが大事で他業種であっても検討すべきである。

(3) 懇親会開催時にも託児所設営をするか否かを今後検討する。

1 1、令和 8 年度第 1 回学術委員会

4/5・WEB

堀口 副会長

【理事会審議付帯事項】

1. 令和 14 年度実施の JCOA 学術集会、研修会の開催地区について

第 45 回学術集会を近畿地区、第 58 回研修会を九州地区に決定し理事会に上程する。

令和 9 年度以降の開催地区等は、次の予定であることを確認した。

① JCOA 学術集会

令和 9 年度（第 40 回）東北地区（岩手県）

令和 10 年度（第 41 回）中国・四国地区（鳥取・島根県）※9 月 17 日～18 日予定

令和 11 年度（第 42 回）関東地区（埼玉県）

令和 12 年度（第 43 回）九州地区

令和 13 年度（第 44 回）中部地区

② JCOA 研修会

令和 9 年度（第 53 回）中部地区（福井県）「恐竜王国・福井」

令和 10 年度（第 54 回）関東地区（群馬県）

令和 11 年度（第 55 回）東北地区（秋田県）

令和 12 年度（第 56 回）近畿地区（奈良県）

令和 13 年度（第 57 回）中国・四国地区

2. 令和 8 年度学術研究助成の審査結果について、「慢性足関節不安定症者における中殿筋への拡散型体外衝撃波の効果」を推薦、理事会へ上程することとした。

1 2、令和 8 年度第 2 回学術委員会

4/24-5/20

堀口 副会長

【委員会決議事項】

1. 第 40 回 JCOA 学術集会（岩手）でのシンポジウムについて

(1) 本委員会からシンポジウム企画案を提出することとし、現時点で、2 案を作成した。

- ・「参加したくなる学術集会とは何かー会員アンケートと開催経験から考える JCOA 学術集会の未来」
- ・「パネルディスカッション」とすることが適当であるとの提案、討論テーマ（案）

2. JCOA 学術集会に関わる受取消費税について

「消費税負担金」の項目を追加することとした。併せて、現時点で活用していない晩餐会関係の項目を削除した「JCOA 学術集会会計書式」を作成した。

1 3、第 17 回 OCOA ホームページ管理委員会

6/2・WEB

宮口 理事

出席者：宮口（委員長）明石（副委員長）、邊見、葉山（委員）、白木、宮崎、神藤

アドバイザー 牧元（以上敬称略）

【協議事項】

- ・掲載原稿の著作権に関して無断転載はお控えいただく文言をHP上に掲載することとした。
- 転載要請があった場合は、その目的や内容に応じてその都度対応する。許諾申請書の作成に関しては今後検討。HPへの掲載において引用資料がある場合は出典元を記載。

- ・ 会員のページの診療報酬改定情報に「骨塩定量検査の算定要件の見直し」の資料を掲載。
- ・ 定款の HP 掲載場所について、現在定款は会員のページに掲載。サイト上の一般公開は任意のため、現状のままとする。(JOA は一般公開、JCOA は会員サイトでの公開である)

【報告事項】

1. バナー広告に関して、6 社すべて入金確認済み
2. ホームページアクセス状況について、1 月以降はアクセスも利用数の増加で 5000 台

1 4、令和 8 年度第 1 回 JCOA 総務委員会 4/14・WEB 邊見 理事

【委員会決議事項】

JCOA 会報第 36 号「第 39 回 JCOA 学術集会（三重）特集号」について

収支決算見込みの掲載がなかったことを確認し、今後は掲載に努めることとした。

【委員会報告事項】

- ・ JCOA 生命共済について
 - (1) 令和 8 年 3 月 1 日時点の生命共済加入者数は 312 名で、前年度比 30 名減であった
 - (2) 第 37 年度（令和 7 年 3 月 1 日から令和 8 年 2 月 28 日）の配当率は 9.98%。
- ・ 各都道府県におけるリクルート状況について

主に大都市部において、開業医の高齢化、死亡退会、新規開業医の入会減少等により、会員数はやや減少していた。要因として、医師会入会の必須化、研修会の会費設定、若手整形外科医の意識の変化等が指摘され、医薬品購入価格の調査や診療報酬に関する勉強会等の取組みが報告された。
- ・ 各都道府県における令和 7 年度の女性会員数を都道府県別に確認した。

1 5、OCHOA リクルート委員会 邊見 理事

会員の死亡や高齢化、新規開業者減少に伴う医師会入会者の減少、研修会の減少や研修会参加費の値上げに伴う参加者の減少などがあり、今後も会員数の減少が予想される。

1 6、第 1 回 JCOA 医療安全・倫理委員会 5/14・WEB 片岡 理事

【委員会決議事項】

1. 電子版「医事紛争事例アーカイブズ」について

電子化し検索機能を持たせることに関して IT 戦略委員会に諮り審議中である。

「医事紛争事例アーカイブズ」検索システム（仮称）について、その仕様及び実装の概要が示され（テキスト形式で保存、Bigram 方式で検索）、見積金額が示された。
2. 医療事故事例報告（2025 年 2 月 2 日報告分）に対しての当委員会の対応について

会員より「医療事故事例報告」があったことも付記してまとめ、今後の JCOA ニュース「医事紛争事例に学ぶ」に掲載する。

【委員会報告事項】

- ・ JCOA ニュース掲載原稿確認
 - (1) 第 206 号「経口避妊薬の服用により重大な障害が生じたことに対する高額損害賠償請求を認めた判例」

(2) 第 207 号「一般整形外科医が直面する馬尾症候群の法的リスクと診療上の要点」

・日本医療安全調査機構プレスリリース

医療事故調査制度の現況報告及び 2025 年 12 月～2026 年 3 月分の報告。

17、第 70 回大阪整形外科セミナー世話人会 3/21・大阪 山口 理事

【参加者】(敬称略)(会場)小坂、榎本、神藤、中島、星、大野、岸本、末吉、劉、山口、

(旭化成)三井、(第一三共)岡田

(WEB)青野、今村、大島、(旭化成)島田

・次回、第 71 回当番世話人は大手前病院 中島弘司先生

・次々回、第 72 回当番世話人は大阪赤十字病院 末吉達也先生

・次回の 第 71 回大阪整形外科セミナーは 2026 年 10 月 3 日(土)

テーマ：手 ～骨粗鬆症含む～ 演者：奈良医大整形外科学講座教授 河村健二先生

第 71 回は会終了後情報交換会を実施する。会場参加を促すためリアル開催のみとする

・①北野病院の田村治郎先生ご定年、岸本成人先生 OCOA 理事ご退任につき、

後任の世話人の先生を次回世話人会までにご推薦いただく

②一般演題の振り分けについて、大野先生より以下内容を提案頂きその場で承認される

グループA

		26夏	27冬	27夏	28冬	28夏	29冬
当番世話人は症例提示する 夏と冬の開催のいずれか1回は症例提示する	済生会中津病院	○			○		
	大阪市立総合医療センター		○			○	
	大阪赤十字病院		当番世話人				○
	堺市立総合医療センター			○			

グループB

		26夏	27冬	27夏	28冬	28夏	29冬
当番世話人は症例提示する 2年間の4回のうち1回は症例提示する	北野病院	○				当番世話人	
	大阪みなと中央病院		○				
	住友病院			○			
	大手前病院	当番世話人		○			
	大阪聖隷病院				○		当番世話人
	北摂総合病院					○	
	おおさかグローバル整形外科病院						○
	大阪医療センター				当番世話人		

③小坂先生より、関西医大系の世話人追加について提案頂き、その場で承認される

7. 第 69 回会計報告

(収入) 前回繰越金 27,646 円 単位取得費用 19 人⇒19,000 円 利息 25 円 計 46,671 円

(支出) 日整会単位取得費用 10,000 円 時間外手数料 110 円

次回第 69 回繰越金 $46,671 - 10,000 - 110 = 36,561$ 円 (会計岸本、監事星野確認済)

18、JCOA 学会雑誌規定集改訂

山口 理事

学術集会発表演題論文、国際化プロジェクト論文・和文一般論文、依頼シンポジウムの

変更された新しい資料が提示された

【委員会決議事項】

1、新投稿（案）・査読システムについて

- ・規定集 での様式収 様式第 1 から表紙（様式 1）という「名称」への変更について
演題名だけを記載してくるケースが複数あり、各様式に説明を付す様、変更する。
- ・執筆要項 4、原稿の各項目
著者は英文 abstract を要することを出来ない場合、和文要旨からの英訳のサービスを、オンライン投稿システム上の申し込み欄で申し込める（費用は著者負担）。

19、令和 8 年度第 1 回医療システム委員会 5/13・WEB 宮崎 副会長

【報告事項】

- ・（NHK 意見書を踏まえて）スマホ首・ストレートネックへの対応について
理学療法やセルフエクササイズ等をまとめたパンフレットを整形外科医向けガイダンスとして、JCOA ウェブサイト「会員の部屋」へ掲載し、ダウンロード可能とする。
- ・第 35 回柔道整復療養費検討専門委員会（4/30） 松本委員から提示
柔道整復療養費の令和 8 年度料金改定(案)
柔整療養費、案「0.6%」引き上げ、明細書発行加算、明細書へ負傷名記載が原則化
- ・第 38 回あん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費検討専門委員会（4/30）
同意書様式案は、医師による診察日、場所、診断名、治療内容、所見（適当な治療手段がないと判断した理由）を追加する案から、裏面留意事項の修正のみとなった。
- ・医業類似行為に係わる健康被害等報告のお願い（宮崎副委員長）
FAX からメール移行に伴い会員からの報告が極端に減少、再活性化策を検討する。
- ・理学療法士 自費リハビリサービスについて（宮崎副委員長）
開業権のない理学療法士の自費リハビリサービス REALEX リアレックスの内容を報告。
- ・「整形外科医が学校保健に関与することについての現場の意識」アンケート調査
岡山市教育委員会ではスクールトレーナー制度の法的位置づけに誤解があり、説明し理解を得た。来年度の教員向け集会で講演し参加者対象にアンケートを実施する。
長谷川理事長から大阪府の取り組みとして 松原市、河南町の養護教諭（幼・小・中）45 名の調査で、関与する整形外科医は全校配置ではなく複数校に 1 名の配置や定期巡回が現実的で、クラブ活動、運動器検診の相談が多い傾向であるとの参考意見。

【協議 ・ 検討事項】

- 1、「医師のための保険診療基礎知識～医業類似行為関連 Q&A～」改訂について
健康被害に関して、宮崎副委員長が 2014 年～2025 年（12 月）のデータで作成。
- 2、令和 8 年度 JCOA シンポジウム 11 月 15 日（日） 会場：品川プリンスホテル
テーマ最終案は『柔整療養問題をどう伝えるか -国民・医師への啓発-』

20、OCHOA 研修会実施報告 史 副会長

第 381 回大阪臨床整形外科医会研修会 （令和 8 年 4 月 18 日）

参加者数 133 名（会員 105 名 非会員 28 名）

日整会 単位申請 113 名 日医 単位申請 75 名 日本リウマチ学会 単位申請 25 名

日本リウマチ財団 単位申請 1 名 日本リハビリテーション医学会 単位申請 12 名

第 382 回大阪臨床整形外科医会研修会 （令和 8 年 5 月 9 日）

参加者数 95 名（会員 76 名 非会員 19 名）

日整会 単位申請 78 名 日医 単位申請 60 名

日本リウマチ学会 単位申請 27 名 日本リハビリテーション医学会 単位申請 12 名

この議事録は、

定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 8 年 6 月 13 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長副会長

木下 裕介



監 事

黒田 晃司



監 事

栗本 一孝



監 事

前中 孝文

